



REAR CAMERA HARNESS

RCH113D

リアカメラ入力ハーネス 取付/取扱説明書



このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

内容物一覧(取付前に必ずご確認ください)

- リアカメラ入力ハーネス ×1
- 変換プラグ ×1
- 結束バンド ×2
- 取付/取扱説明書(本書) ×1

ご相談窓口



サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
お電話 086-486-0442

【受付時間】月曜日～金曜日
10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)



メールでのお問い合わせ(PC)

<https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>



メールでのお問い合わせ(スマートフォン)

<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>



Data System 株式会社 データシステム

■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2

■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11

弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

注意事項

本書には取り付け/取り外し作業中の事故、または不適切な作業による車両損傷などにより、安全と信頼性が損なわれないよう守るべき項目を記載しています。ただし、これらの表記は起こり得るあらゆる現象に関して、すべて記載することはできないため、これらの記載事項さえ守れば良いという絶対的なものではないことを、あらかじめご承知おきください。



重要

本製品を取り付ける前に知っておいていただきたいこと

- リアカメラ(バックカメラ)は鏡像タイプを使用して下さい。
リアカメラの映像はシフトレバーを「R(リバース)」にしたときだけ画面に映ります。
- 本製品はNTSC(525i)のビデオ信号(RCA ピン端子)に対応しています。
- 延長ケーブルを別途ご購入ください。
- 必要に応じて延長ケーブルを別途ご用意ください。

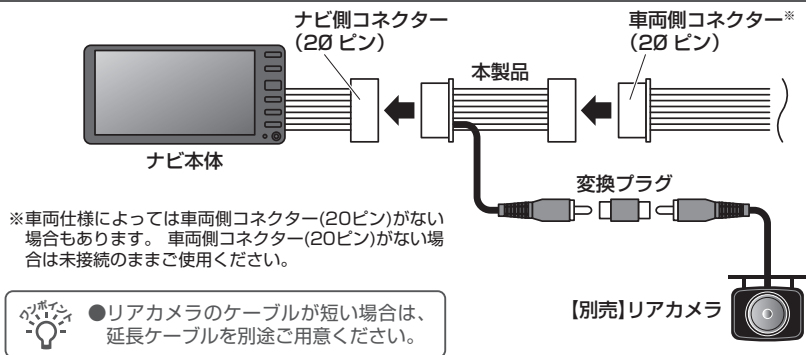


注意

守らないと車及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの

- 取り付け前に、必ずエンジンを停止させバッテリーマイナス端子を外してください。ただし、その場合はラジオや時計などのメモリー内容が消えてしまいます。消えてしまうと困るメモリーの内容は、バッテリーマイナス端子を外す前に必ずメモしておき、取り付け完了後、再度入力してください。
- テレビモニターやチューナーなどを点検、修理に出される際には必ず本製品を取り外して頂きますようお願い致します。本製品を含みアフターパーツ類を取り付けしている場合、ディーラーによってはメーカー保証が受けられない場合があります。
- 本製品を使用、操作したことによって発生した、人身・物損事故の責任・補償は一切負いません。
- ユニット内の音楽ディスク、地図ディスク等すべてイジェクトしてから、脱着作業をおこなってください。
- コネクタを外すときは、コネクタの抜け防止爪をしっかり押し込み、まっすぐ引き抜いてください。コネクタを無理に引っ張りますと、車両側ユニット内の基板が破損する恐れがあります。
- 配線部分を引っ張ることは絶対にしないでください。断線、接触不良を引き起こす恐れがあります。
- コネクタを接続するときは、カチッと音がするまで奥まで確実に差し込んでください。
- 本製品は、必要に応じて配線部を結束バンドで固定してください。固定しないとコネクタの接触不良、配線の断線の恐れがあります。
- 本製品を取り付ける際は、ハーネス、配線がパネルやシートレール、ペダルなどに噛み込まれたり挟まれる可能性がある場所には絶対に設置しないでください。製品の破損やハーネス断線の恐れがあります。
- 本製品の取り付けには専門知識が必要ですので、販売店または整備工場などに作業を依頼してください。
- 適合外の車両へ取り付け発生したクレーム、事故、故障などに関する責任は弊社では一切負いません。あらかじめご了承ください。

接続概要図



取付方法

取付作業前の確認

- リアカメラの設置、動作確認は先におこなってください。
- ナビにバック信号(バックランプ電源)が接続してあることを確認してください。バック信号が接続されていないとリアカメラハーネスは動作しません。

▼確認方法

ナビの画面にして車を後退(バック)させます。このときにナビの地図上で車を示すマークが同じように後退すればバック信号は接続されています。地図上で後退しない場合はバック信号の接続を確認してください。

1. バッテリーのマイナス端子を外します。
2. モニター本体を外します。
3. ナビに接続されているケーブルの途中にある、20ピンコネクタに本製品を割り込ませます。



- ワンポイント 車両装備仕様によっては車両側コネクタ(20ピン)がない場合もあります。車両側コネクタ(20ピン)がない場合はナビ本体側のみ接続してください。

4. 本製品のRCA端子(黄色ピンジャック)をリアカメラと接続します。
5. モニターが動作する状態まで車両を復元して、バッテリーマイナス端子を接続します。
6. シフトレバーを「R(リバース)」にして、ナビ画面がリアカメラの映像に切り替わることを確認します。また、「R」以外にシフトを動かしたとき、ナビ画面がリアカメラから他の画面に切り替わることを確認します。

△映らない場合はナビ裏の接続、カメラの取り付け、ナビの「バックカメラ」の設定、ナビにバック信号(バックランプ電源)が接続されているかなどを確認してください。

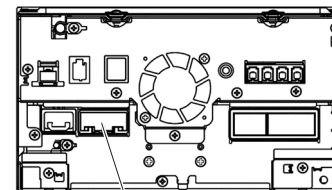
7. コード類を取り回し、取り外したパネル類を元に戻し取付作業は終了です。

△「ナビの取扱説明書がない」「取扱説明書にカメラ設定方法の記載がない場合は、ナビメーカーにおたずねください。

コネクタ接続位置

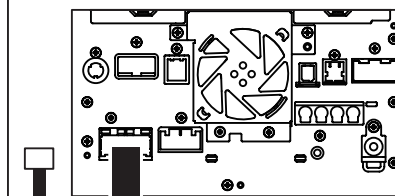
本製品の接続先はナビ仕様によって異なります。

ナビ本体に20ピンコネクタがある場合



※モニター裏の形状は図と異なる場合があります。

ナビ本体ではなくナビハーネス側に20ピンコネクタがある場合



※モニター裏の形状は図と異なる場合があります。



本製品を使用してナビにバックカメラを接続した場合、バックカメラ信号入力線の接続や、ナビ側で「バックカメラ」の設定が必要になることがあります。詳細はナビの説明書をご覧ください。